

第35回 個性づくりテーマ展示

叱らない子育て



「叱らない子育て」という言葉が出てくるようになってから、世の中でこの育児法に対して賛成と反対の意見が飛び交っています。また、同じ叱らない育児法を提唱していても、その育児方法は各人の考えによって違っているため、実際にどの方法を試すべきなのか悩んでしまうお母さんお父さんも多いことでしょう。そして叱る叱らない以前の問題に、「叱らない子育て」の本質を知らなければなりません。では「叱らない子育て」とはどのような子育てのことを言い、どのような考え方なのか。ご紹介します。

展示期間 2017年2月25日(土)～4月27日(木)
展示場所 鷺宮図書館 5階個性展示コーナー

❖ 「叱らない子育て」とは？

叱らない子育てとは、必ずしも「子どもを叱らない・注意をしない」ということではありません。叱ることは子どもを社会で通用する人間に育てるための「しつけ」の一つであり、ほめることと同じくらい大切なことです。しかし、がみがみと叱り続けられた子どもは大人の前で必要以上に委縮してしまったり、本来持っている能力を発揮できなかつたり、大人との信頼関係を築くことが出来なくなります。また、頭ごなしに怒ると子どもは「怖い」という印象しかなくなるので、何故怒られているのか理解が出来ません。「怒ること」「感情的になること」は「叱ること」ではありません。では、叱る叱らないの基準はどこにあるのでしょうか。

◎ 子どもが「できないこと」は叱らない

→例えばおねしょなど本人の努力では治せないことをしかっても効果はありません。他にもボタンをうまくはめられない子どもに「さっさと着替えなさい。」と叱っても焦ってしまい、逆効果になる場合があります。(本当は早く着替えられるのに遊んでいる場合などは別です)

◎ 大人と同じような「見通し」「判断力」を求めて叱ってはいけない

→大人は無意識のうちに目的に向かって効率や手段を考えて行動します。でも子どもは効率など考えず、「楽しいこと」を中心に生きています。例えば朝、ぐずぐず準備している子どもがいるとします。お母さんはそれを見て「幼稚園のバスが来る→遅れる」ことが分かるので「早く早く」と急かします。しかし子どもは先のことまで見通す力がそれほど備わっていません。「ぐずぐずしているとその後どうなるのか」が、まだ見通せないのです。

❖ 叱る前にちょっとSTOP！子どもに注意をする時は具体的に。

疑問形や感嘆符付きはNG！

×	→	○
「どこにいくの！」	→	「こっちへ戻っておいで」
「何してるの！？」	→	「危ないからやめなさい」
「なんでそんなことするの！」	→	「お箸で食べなさい」

疑問形や感嘆符付きは叱る時についつい使いがちな言葉です。しかし子どもには分かりずらく、何に対して叱られているの理解しにくい言葉でもあります。

単語だけ、言葉だけでもNG

×	→	○
「ひじ！」	→	「ひじをついてはダメよ」
「あし！」	→	「足を下ろして、お行儀よくね」
「くつ！」	→	「靴をちゃんとはきなさい」

子どもに何かを注意する時は「具体的に」「その場で」「出来るだけ穏やかに」「ストレートな言葉」を心掛けて伝えると子どもの心にも伝わりやすくなります。

❖ 必ずしも「叱らない」ということではないことを注意！

社会の中で生きていくためには、マナーや道徳的なことは学ばなければならないし、善悪の判断をしていかなければなりません。そのためには時として厳しく言わなくてはならない場面が出てきます。

特にこの3つッ！



①故意に人を傷つける

誰かに何かをぶついたり、暴行を加えたりしたとき。いじめる、人のものを盗る、他人の権利を奪うような行い。



②嘘をつく

幼い頃は自分のことを守るため、嘘をつくことがあります。他人が迷惑をこうむるような嘘や悪意のあるものは見過ごしてはいけません。



③命を危険にさらす

他人や自分の命が危険に陥りそうなとき。道路に飛び出そうとしたり、自転車の速度違反など。



つつい叱りすぎてしまった・・・そんな時は？

親も人間ですので、分かっているもつつい言い過ぎてしまうことも。そんな時は思っていることを子どもに伝えるか、何故叱ったのかをフォローしましょう。どんなに言い過ぎても、子どもはお母さんが大好きです。特に風呂でリラックスしている時に優しく穏やかに伝えてあげると、説得力があり伝わりやすくなります。



出典 『子どものしかり方がわかる本』 コモ編集部／編著 主婦の友社
『もう怒らない！これだけで子どもが変わる魔法の“ひと言”』 若松 亜紀／著 学陽書房
『マンガでわかる！男の子のママがラクになる！叱らない「しつけ」ができる本』 原坂 一郎・まえた ゆずこ／著 メディアファクトリー
『なぜ、子どもを伸ばす親は「叱らない習慣」にこだわるのか』 安村 知倫／著 明日香出版社

おすすめ展示図書



『これだけで子どもが変わる魔法の“ひと言”』

若松 亜紀／著 学陽書房

請求番号：379.9 ワ

毎日がみがみイライラしながら繰り返してしまう言葉を魔法の言葉に変換していだけで、子育ては驚くほど変わる。自身も子どもも笑顔になれる魔法の一言を紹介する。



『子どもの脳を伸ばす「しつけ」』

ダニエル・J・シーゲル／著 大和書房

請求番号：379.9 シ

子どもが悪さをしたとき、親は「どう」すべきか？子どもの脳は親の接し方や言葉で、どんどん変わる。心理学と脳科学を応用した精神療法を実践してきた著者らが、子どもの脳と心を成長させる「しつけ」の方法を具体的に伝授する。



『その叱り方、問題です！』

菅原 ますみ／著 主婦の友社

請求番号：379.9 ス

「絶対に叩いてはだめ！」「怒鳴ってはいけない」などは最近の子育てセオリー。でもどう言ったら分らないし、そもそも叱ってはいけないの・・・？その答えは「バツ」。ではどう「叱る」のが正解なのか、個性による叱り方がバッチリ分かる！

展示図書リスト

このリストのほかにも多数取り揃えております。ぜひ展示コーナーへお立ち寄りください。

書名	請求記号	著者	出版社	出版年
なぜ、子どもを伸ばす親は「叱らない習慣」にこだわるのか	379.9 ヤ	安村 知倫／著	明日香出版社	2015
フィンランド式叱らない子育て	379.9 フ	ベン・ファーマン／著	ダイヤモンド社	2013
「叱らない」「ほめない」「教えない」から成績は大きくあがる	379.9 カ	河原 利彦／著	現代書林	2015
尾木ママ流叱らない子育て	379.9 オ	尾木 直樹／著	KADOKAWA	2015
「叱らない」育て方	379.9 イ	池上 正／著	PHP 研究所	2014
ちゃんとできる子になる「怒らない子育て」	379.9 チ	『PHP のびのび子育て』 編集部／編	PHP 研究所	2015
普通の子どもたちをできる子にする怒らない教え方	764.6 ヤ	屋比久 勲／著	KADOKAWA	2014
子どもが変わる怒らない子育て	599 シ	嶋津 良智／著	フォレスト出版	2013
0～6 歳までの男の子の育て方	379.9 ゼ	小崎 恭弘／監修	洋泉社	2016
その叱り方、問題です！	379.9 ス	菅原 ますみ／著	主婦の友社	2016
お母さんの「叱りすぎ」がピタッ！ととまる本	379.9 ハ	波多野 ミキ／著	PHP 研究所	2015
尾木ママの叱らずしつけ 21 のコツ	379.9 オ	尾木 直樹／著	主婦の友社	2016
6 歳までの子育てに悩んだら読む本	599 ホ	北條 博厚／著	あさ出版	2015
子どもにとどく伝え方	379.9 イ	入江 礼子／著	赤ちゃん和妈妈社	2015
9 割は「叱ること」ではありません	379.9 ヒ	東 ちひろ／著	PHP 研究所	2016
叱るより聞くでうまくいく子どもの心のコーチング	379.9 ワ	和久田 ミカ／著	KADOKAWA	2016
子どもの心のコーチング	379.9 ス	菅原 裕子／著	PHP 研究所	2015
男の子ママがラクになる！叱らないしつけができる本	379.9 ハ	原坂 一郎／教えた人	メディアファクトリー	2013
マンガでよくわかる子どもが変わる怒らない子育て	599 シ	嶋津 良智／著	フォレスト出版	2017



スキンシップの効果

スキンシップには人の心を癒す効果があります。求められれば沢山抱きしめてあげてください。大きくなって少し恥ずかしい・・・という場合でも、「おはよう」「おやすみ」と挨拶をする際に、肩を叩くだけでも効果があります。親に手をあげるようになってしまった・・・、不登校になった・・・という子でも家族で触れ合う時間を多く持つことで改善されたという例もあります。

出典：『なぜ、子どもを伸ばす親は「叱らない習慣」にこだわるのか』安村 知倫／著 明日香出版

叱らない子育てについてしらべるには・・・

図書館の資料の調べ方、インターネットを活用した調べ方についてご紹介します。

1 【情報探索のキーワード】効率的な情報検索には、適切なキーワードが必要です。

叱らない	子育て	しつけ
家庭教育	怒らない	育て方
怒る	叱る	教育

2 【基本的な情報源】辞書・事典類でテーマについて基本的な情報を入手しましょう。

資料情報	請求記号	配架場所
保育用語辞典	376.1 ホ	鷺宮図書館
子ども心理辞典	R371.4 コ	中央図書館

◎中央図書館参考室では、子育て・教育に関する統計や白書を所蔵しています。

資料情報	分類
保育白書 2016年版 全国保育団体連絡会／編	R376.1 ホ
子供・若者白書 平成28年版 内閣府／編集	R367.6 コ
子どもNPO白書 2015年創刊号 日本子どもNPOセンター編	369.4 コ

3 【図書を探す】

●館内所蔵を探す

◎ テーマの棚に行って探す

図書館の本は主題ごとに棚に並んでいるので、請求記号の最初の数字を参考にして同じ主題の本を探すことができます。

分類	分野	分類	分野	分類	分野
379.9	家庭教育 しつけ	376.1	保育	599	育児

◎ 中野区立図書館利用者解放端末（OPAC）で探す。（※展示リスト参照）

資料のタイトル、著者名、出版社名などから、中野区立図書館所蔵の資料を検索できます。

中野区立図書館のHP <https://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/TOSHO/index.asp>

中野区立図書館 HP（携帯版） <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/i/>

● 東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す。

◎「東京都立図書館統合検索」 <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

● 国内で刊行されている図書を探す。

◎「国立国会図書館サーチ」 <http://www.ndl.go.jp/>

◎「Books.or.jp」 <http://www.books.or.jp/>

国内で発行された入手可能な書籍が検索できます。出版社のホームページやオンライン書店へのリンクもあります。

4 【オンラインデータベースで調べる】

中央図書館では、参考資料コーナーの利用者開放インターネット端末で、以下のデータベースをご利用いただけます。

データベース	収録期間と主な内容
官報情報検索サービス	1947年5月3日から当日までの官報記事の検索
日経テレコン	1975年からの日経4紙（経済・産業・金融・流通）の記事
聞蔵Ⅱビジュアル	1926年から1999年までの朝日新聞紙面イメージ 1985年から当日までの新聞の記事 ほか
MAGAZINE PLUS	一般誌・総合誌の雑誌記事検索や学術論文
WHO PLUS	歴史上の人物から現代の人物まで約32万人のプロフィール
D1-Law.com	判例情報、法律の改廃記録、法律判例文献情報 など

5 【インターネットを利用する】

●中野区の子育て関係の情報を知る

◎中野区子育て情報 <http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/guide/003/009/>

◎暮らしのガイド「子ども・教育」

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/guide/003/index.html>

●育児・教育に関すること

◎「乳幼児からの子どもの教育支援プロジェクト」 東京教育委員会

<http://www.nyuyoji-kyoiku-tokyo.jp/>

◎「子育て・キッズ」 All About Group

https://allabout.co.jp/ch_kids/

◎「ベネッセ 教育情報サイト」 Benesse

<http://benesse.jp/kosodate/>

◎「東京教育相談センター」 東京教育相談センター

<http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/index.html>

◎「育児のまぐまぐ！」 株式会社まぐまぐ

<http://ikuji.mag2.com/>

言葉を変えて接してみよう！

まずは共感してみよう！



例えば・・・子どもが転んでしまった時
「大丈夫。痛くない痛くない」→「痛かったね？大丈夫？」
・・・何か怖いと感じた時
「こわくないこわくない」→「そっか。こわいね」

子どもは痛い、暑い、寒いなど感じたことを素直に言葉に表しているだけなのに、そんなつもりはなくても大人はついつい否定しがち。まずは子どもの気持ちを認めてその後に伝えたかったことを言うと、素直に聞くことが多くなります。

「反感言葉」を
「共感言葉」に



子どもの話を聞いていると、それは無理だろうな、と思える話が沢山出てきます。そういった時「でも」「しかし」「それは無理だよ」「けどさ」などの言葉で返事を返してはいませんか？子どもが夢を語っていても、「しかし」の後に続くのは「できるはずがない」というニュアンスの言葉になるはずです。

このように返答しているといずれ親には何も話さない子になってしまいます。逆に「なるほど」「面白そうだね」「そう思ってるんだね」と共感してあげてみてください。子どもの気持ちを開放させ、想像力を広げることの出来る子になっていきます。

「あとでね」を
「〇時になったら」に



子どもから何かをお願いされた時、「あとでね」と答えていませんか？確かに便利な言葉ではありますが、言われた側はどう感じるでしょうか。言われた子はどうでしょう。期待して今か今かと待っているはず。「いつ？」「まだ？」と何回も聞かれて、しまいには親子ともどもけんか腰になってしまうことも。

そんな時、「〇時になったらね」と時間を明確化させておくと待つ側も安心することができます。幼い子なら「～が終わったらね」とか「長い針がここになったらね」などわかりやすく目安を提示してあげると子どもも大人もやきもきすることが少なくなります。

いつも忙しい！そんなあなたに・・・
～ちょっとしたことから～

自身の生活を見直す・・・

挨拶をする、家をきれいに保つ、食事のマナーを大切にするなど親が行うだけで子どもはそれを真似します。子どもに教たいことを自分が実践していくことも大事です。

いつも笑顔は難しくとも

↓
口角をあげるだけで印象が変わる！



最後に・・・

子育ての一日は本当に大変です。子どもに振り回され家事をこなし、家計を支え近所とも付き合い・・・などなど。そんな限られた時間の中でもご自身の時間をつくることを忘れないようにしてください。いつも完璧に家事も子育てもこなさなければならぬわけではありません。家事をしない日を作る、一人で出掛ける、趣味をする時間を増やすなど、お母さんもお父さんもリフレッシュしながらぜひ自由な時間を楽しんでください。

出典：『もう怒らない！これだけで子どもが変わる魔法の“ひと言”』
若松 亜紀／著 学陽書房
『マンガでわかる！男の子のママがラクになる！叱らない「しつけ」ができる本』
原坂 一郎・まえた ゆずこ／著 メディアファクトリー